

競技運営規程

第 87 回全日本男子ホッケー選手権大会・第 74 回全日本女子ホッケー選手権大会 2013 年度

1 大会運営

本大会は、公益社団法人日本ホッケー協会発行の「ホッケー競技運営規程」(2013 年版)により運営される。もしもその解釈等に擬義が生じた場合はあくまでも「ホッケー競技運営規程」本文にしたがって解決を図るものとする。

2 競技規程

競技規程は、公益社団法人日本ホッケー協会「ホッケー競技運営規程」(2013 年版)による。

3 試合時間

試合時間は、前半 35 分・後半 35 分の計 70 分とし、前後半の間に 10 分間のハーフタイムをおく。

4 グループリーグでの順位の決定方法

- (1) グループリーグにおいて、「勝点」の多いチームを上位とする。「勝点」は勝ちチームに 3 点、引き分けチームに 1 点、負けチームに 0 点をそれぞれ与える。
- (2) 「勝点」が同点のチームが複数ある場合、下記の順序に従って順位を決定する。(1 位・2 位を決定する場合のみ)
 1. 「勝利数」の多いチーム
 2. 「得失点差」の多いチーム
 3. 「総得点」の多いチーム
 4. 当事者同士の試合で勝ったチーム
 5. S O 戦

5 決勝トーナメントでの勝敗の決定方法

上記規定時間内に勝敗が決しない時は、下記の方法により勝敗を決定する。

10 分間の休憩後、あらためてサイド(又はボール保持)を決め直して、延長戦を行う。時間は、各 7 分 30 秒よりなる 2 ピリオドとし、2 ピリオドの間にサイドをチェンジするが、休憩時間はおかない。この延長戦は、いずれかのチームが得点した時点で終了する。延長戦の結果なお勝敗が決しないときは、6 に定める方法により、S O 戦を行い、勝敗を決定する。

6 SO戦による決定方法

- (1) 両チームの監督は、5名のストローカーと1名のゴールキーパーを指名する。(選ばれた選手は、レッドカードによる退場処分を受けた者を除いた出場登録済みの者)
- (2) 両チーム5名ずつの選手により、交互に攻防を一巡行い、得点の多い方を勝者とする。なお、途中で勝敗が決したときは打ち切る。(この際ゴールキーパーがプレー不可能になった場合は、ゴールキーパーを交替できる)
- (3) 最初のSO戦において勝敗が決しない時は、再SO戦をサドンデス方式で行う。最初先攻のチームが後攻となる。(各チームのメンバーは、プレー不可能な者を除き、最初と同じメンバーで行う。ただし、順序は変えてもよい)

7 その他

- (1) 出場チームは、試合開始30分前までに監督署名済みのエントリーフォームを1部提出する。
- (2) 試合時間8分前に、リングパス並びに服装・装具等の点検を行う。
- (3) ベンチは、ジャッジ席から見てプログラムの対戦カードの左のチームが左に入る。
- (4) 競技運営に関する疑義が生じた場合は、TDが決定する。